

施策番号	1601	成果指標					
		指標名	単位	区分	H29	H30	R1
施策名	すべての人の基本的人権が尊重され、男女が対等な立場で協力し合えるようにします	日常生活の中で差別があると感じていない区民の割合	%	目標	64.4	64.8	65.2
				実績	64.6	64.7	68.8
		男女の共同参画が進んでいると思う区民の割合	%	目標	43.6	45.8	48.0
				実績	36.8	40.4	41.5
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）応援事業	人権推進課	◎	1044
	計画	男性の家庭生活への参画支援事業	人権推進課	◎	1046
	計画	配偶者暴力防止事業	人権推進課	◎	1048
		パルフェスタ	人権推進課	◎	1050
		各種講座（人権・男女平等）	人権推進課	◎	1052
		相談事業（女性の自立支援等）	人権推進課	◎	1054
		男女平等推進センター等維持管理	人権推進課	◎	1056
		男女平等推進センター図書資料室運営	人権推進課	○	1058
		人権・男女平等啓発情報発信事業	人権推進課	○	1059
		男女平等推進審議会等運営	人権推進課	○	1060
		部落解放同盟東京都連合会葛飾支部助成	人権推進課	○	1061
		女性相談	東生活課	○	1062

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

## 事務事業評価表

事務事業名	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）応援事業						担当部	総務部	関係課	—
							担当課	人権推進課		
開始年度	平成18年度						個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）		
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(10)
事務事業目的	男女共にあらゆる世代において一人一人が望む「仕事」と「仕事以外の生活（子育てや親の介護、自己啓発、地域活動など）」を大切にしたい暮らしを選択できるようワーク・ライフ・バランスの推進を図る。									
実施内容	<p><b>【概要】</b> イベントや講座等により、ワーク・ライフ・バランス（WLB）に関する情報提供や意識啓発を行うとともに、企業におけるWLBの取組を支援する。</p> <p><b>【活動内容】（令和元年度実施）</b></p> <p>①ワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー派遣事業 仕事と生活の調和の推進に取り組む区内の中小企業等に対して、専門知識を持った社会保険労務士をアドバイザーとして派遣する。</p> <p>②産業フェアへの出展…パネル展示やWLB啓発活動等を実施</p> <p>③WLBに関する講座・講演会 「ママのための自分時間」 「これからの社会を生きるコツ～ パラレルキャリアのすすめ」 「知らなかったでは済まされない！働き方改革関連法で今すぐ企業が取り組むこと」</p> <p>④啓発情報誌「Loop」の発行 5,600部</p> <p><b>【過去の改善実績】</b></p> <p>①の「ワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー派遣事業」は前身の「中小企業のための仕事と生活の調和応援事業助成金」の実施終了に伴い25年度より新たに創設した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	企業対象講座・講演会のアンケートでの満足度	受講者アンケート	%	目標	96.3	97.0	98.0
				実績	96.1	98.4	100.0
成果	WLBに取り組んでいる区民の割合	葛飾区政策・施策マーケティング調査	%	目標	40.4	40.6	40.8
				実績	45.9	46.6	49.9
活動	WLBに取り組む企業への支援	—	企業	目標	6	6	6
				実績	4	1	5
活動	WLB啓発イベント参加者数	—	人	目標	1,200	1,200	1,200
				実績	1,466	2,484	1,655
活動	WLBに関する講座・講演会（区民・企業対象）	—	回	目標	3	3	3
				実績	3	3	3
活動	WLBに関する啓発情報誌の発行	—	部	目標	5,600	5,600	5,600
				実績	5,600	5,600	5,600

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	150	150	150
		その他	8	0	0
	一般財源 (a)	3,461	3,304	3,736	
支出	直接事業費 (b)	917	669	1,050	
	職員人件費 (c)	1,600	1,580	1,580	
		業務量（人）	0.20	0.20	0.20
	間接費 (d)	1,102	1,205	1,256	
	調整額 (e)	190	200	180	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	190	200	180	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,809	3,654	4,066	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	WLB啓発イベント参加者数（人）		
実績数値 (g)	1,466	2,484	1,655
単位あたり区単コスト (a/g)	2,361	1,330	2,257
単位あたりコスト (f/g)	2,598	1,471	2,457

実施状況 に対する評価	<p>アドバイザー派遣事業については、社会保険労務士と協力し、企業へのパンフレットの配布及び制度説明、介護サービス事業者連絡会での周知を行った結果、5件の企業への支援につながった。</p> <p>また、産業フェアにおけるワーク・ライフ・バランス（WLB）啓発イベントでは、今回も「工業・商業・観光展」ではなく、「農業・伝統産業展」での出展となったため、アンケート結果により来場者の4割以上が70歳以上で、仕事をしていない人の割合が5割以上と、事業の対象者とのミスマッチの傾向が見られた。</p> <p>WLBに関する講座・講演会では、今回はニーズに合わせたテーマを取り上げたことにより、アンケートでは満足度が100%と非常に高かった。</p>
今後の方向性 【継続】	<p>今後も、引き続き、企業への支援については、社会保険労務士と協力し、制度説明によりアドバイザー派遣事業を区内企業に広く周知するとともに、啓発情報誌の発行による情報提供や啓発を行っていく。</p> <p>講座・講演会については、区民の関心のあるテーマを取り上げ、WLBの意識を高めていくよう、広報かつしかやホームページ等を活用して、周知していく。</p> <p>また、産業フェアでは、来場者のワーク・ライフ・バランス（WLB）に対する、興味関心を高めることができるよう、啓発の内容等について検討していく。</p>

### 事務事業評価表

事務事業名	男性の家庭生活への参画支援事業					担当部	総務部	関係課	—	
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成28年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(11)
事務事業目的	家事・育児・介護などの多くを女性が担っている現状を踏まえ、男性が女性と協力してこれらを担えるように、必要な知識とノウハウを取得することを目的とした講座・講演会を実施する。									
実施内容	<p>【概要】 男性の家事・育児・介護への参画が進むために必要な知識とノウハウを得るための機会を提供する。</p> <p>【活動内容】 必要な知識とノウハウを取得するための講座・講演 ・男性の家事・育児・介護参画促進講座・講演会 ママとパパの愛情アップ講座パパのための「赤ちゃんとの遊び、ふれあい」 これから親になるカップルのための父親学級 パパといっしょに絵本ライブ～家族みんなでニコニコしよう！ パパと一緒にクッキング！わくわくクリスマスパーティー</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	男性の家事・育児・介護参画促進講座・講演会のアンケートでの満足度	受講者アンケート	%	目標	98.2	98.6	100.0
				実績	98.2	100.0	100.0
活動	講座・講演会の参加者数(延べ)	—	人	目標	46	120	90
				実績	33	81	86
活動	男性の家事・育児・介護参画促進講座・講演会	—	回	目標	4	4	4
				実績	4	4	4
活動	男性の家庭生活参画に関する情報誌等の発行	—	部	目標	4,000	4,000	4,000
				実績	12,000	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	11	9	7
	一般財源 (a)	3,503	2,816	2,871	
支出	直接事業費 (b)	871	147	171	
	職員人件費 (c)	2,000	1,975	1,975	
		業務量（人）	0	0.25	0.25
	間接費 (d)	643	703	732	
	調整額 (e)	238	250	225	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	238	250	225
		(控) コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,752	3,075	3,103	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	延べ参加者数（講座・講演会）（人）		
実績数値 (g)	33	81	86
単位あたり区単コスト (a/g)	106,152	34,768	33,388
単位あたりコスト (f/g)	113,697	37,965	36,086

実施状況に対する評価	<p>「ママとパパの愛情アップ講座」は、「産後うつ予防と骨盤体操」との合同講座とした。男性の家事育児参画を促すため、「産後」講座の講師から「お母さんを支える」役割の大切さについての話を夫婦揃って受講できるよう設定した。また、赤ちゃんとの遊び方、ふれあい、子育て中の事故防止などについて、保育士や看護師からの説明があり、父親の育児への関心が高まった。両講座同時開催が満足度につながった。</p> <p>男性の家事・育児・介護参加促進講座は満足度が高く、なかでもパパと一緒にクッキング！わくわくクリスマスパーティーについては、応募者が募集定員を大きく上回る結果となり、アンケートでは、参加者が「とてもよかった」または「よかった」と回答した。</p>
今後の方向性【継続】	<p>夫婦やカップル、親子などでの参加、または他の講座と合同で開催するなど、男性が講座に参加しやすい環境をつくることで、多くの男性に参加してもらえるよう今後もニーズを的確にとらえ、講座・講演会を企画していく。</p> <p>また、男性向けワーク・ライフ・バランス啓発冊子を活用し、男性の家庭生活への参画支援を行っていく。</p>

## 事務事業評価表

事務事業名	配偶者暴力防止事業						担当部	総務部		関係課	—
							担当課	人権推進課			
開始年度	平成14年度						個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(8)	
事務事業目的	DV被害者が早期に相談し、安全が確保され、自立して生活が営めるよう適切な支援を行う。										
実施内容	<p><b>【概要】</b> 「配偶者暴力の防止及び被害者保護のための計画」に基づき、各種事業を実施</p> <p><b>【活動内容】</b>（令和元年度実施）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 配偶者暴力相談支援センター業務（平成26年4月～）</li> <li>② DV相談…毎週月・木曜日 午前10時～午後5時</li> <li>③ 啓発講座等の実施（年4回）</li> <li>④ DV関係機関連絡会の運営（年1回）</li> <li>⑤ ぱるかふえの運営（年1回）</li> <li>⑥ DV予防啓発冊子「ひとりで悩まないで～DVハンドブック～」の作成（1,000部）</li> <li>⑦ 相談窓口周知用のクリアファイルの配布</li> <li>⑧ 相談窓口周知用のメモ帳の配布</li> <li>⑨ 「女性に対する暴力をなくす運動」期間における啓発活動</li> <li>⑩ 一時保育 DV相談中の一時保育（要予約）</li> </ol>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	相談窓口が行政にあることを知っている区民の割合	葛飾区政策・施策マーケティング調査	%	目標	46.4	47.1	47.8
				実績	47.6	46.4	55.9
活動	DV相談件数	—	件	目標	626	532	550
				実績	422	422	498
活動	パンフレット等作成・配布	—	部	目標	1,000	1,000	1,000
				実績	1,000	1,000	1,000
活動	講座・講演会等	—	回	目標	4	4	4
				実績	4	3	4
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	1,840	49	613
		都道府県支出金	290	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	3,894	5,745	5,567	
支出	直接事業費 (b)	3,506	3,209	3,554	
	職員人件費 (c)	1,600	1,580	1,580	
		業務量（人）	0.20	0.20	0.20
	間接費 (d)	918	1,005	1,046	
	調整額 (e)	190	200	180	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	190	200	180	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	6,214	5,994	6,360	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	DV相談件数（件）		
実績数値 (g)	422	422	498
単位あたり区単コスト (a/g)	9,227	13,614	11,179
単位あたりコスト (f/g)	14,725	14,204	12,771

実施状況に対する評価	<p>DV相談件数は増加傾向であるので、窓口の周知を図りながら今後の相談件数の推移を見守る必要がある。</p> <p>「女性に対する暴力をなくす運動」期間における啓発活動では、パープルリボンツリーの設置やパネルの上部にパープルライトのイルミネーションを装飾した。今回の催しで理解が深まったと答えた人が、96%と極めて高く、より一層啓発の効果が確認できた。同時に実施した「ぼるかふえ（茶話会形式）」では、DV相談員から行政や警察の対応など最新のDVについての話があり、DV被害者は自身の体験を語り合うなど、事業の目的を達成できた。</p> <p>また、DVに関する講座及び研修については合計4回開催し、対象者を若年層から区職員まで幅広くし、DVに関する意識を高めることができて、満足度が高かった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>DV相談窓口については、引き続き広く周知を行い、認知度の向上に努めていく。若年層への啓発については、広く地域の若年層を対象にした講座を実施していく中、中学校への啓発活動も引き続き継続していく。</p> <p>また、「配偶者暴力の防止及び被害者保護のための計画」に基づき、今後も着実に各種事業を実施するとともに、引き続きDV相談窓口を通じて、配偶者等による暴力の防止及び被害者保護と支援の取組みを続けていく。</p>

### 事務事業評価表

事務事業名	パルフェスタ					担当部	総務部	関係課	—	
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成2年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(6)
事務事業目的	施設登録団体の活動発表と区主催事業を実施し、広く区民に男女平等推進センターを周知するとともに、男女平等・男女共同参画について考える機会を提供する。									
実施内容	<p><b>【概要】</b>                  日頃から男女平等推進センターを拠点として活動している団体の活動の成果発表と、男女平等推進センターのより一層のPRを目的として毎年、3月初旬に開催している。実施・運営は、パルフェスタ実行委員会を組織し、団体と葛飾区の共催として行う。</p> <p><b>【活動内容等】</b>                  令和元年度は令和2年3月7日（土）に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	参加団体の満足度	参加団体アンケート	%	目標	90	90	90
				実績	87	94	—
活動	パルフェスタ来場者数	—	人	目標	1,200	1,200	1,200
				実績	1,234	1,238	—
活動	協働団体数	—	団体	目標	35	35	35
				実績	34	36	—
活動	パルフェスタアンケートによる初来場者の割合	—	%	目標	20	30	30
				実績	36	34	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—



コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	2,683	2,665	953	
支出	直接事業費 (b)	1,208	1,179	639	
	職員人件費 (c)	1,200	1,185	0	
		業務量（人）	0.15	0.15	0.15
	間接費 (d)	275	301	314	
	調整額 (e)	143	150	135	
		減価償却費	0	0	0
		金利	0	0	0
		退職給与引当	143	150	135
		（控）コスト対象外	0	0	0
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	2,826	2,815	1,088	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	パルフェスタ来場者数（人）		
実績数値 (g)	1,234	1,238	—
単位あたり区単コスト (a/g)	2,174	2,153	—
単位あたりコスト (f/g)	2,290	2,274	—

実施状況に対する評価	令和元年度は、参加団体を9月に募集し、10月から実行委員会を立ち上げて、約5か月に渡り、パルフェスタの準備を進めていた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月に参加団体の代表からなる臨時実行委員会を開催し、協議した結果、中止となった。参加団体からは、日頃の活動の成果を発表できず残念ではあるが、やむを得ないとの声があった。
今後の方向性【継続】	パルフェスタは男女平等推進センターを広く区民に知っていただくための重要な機会となっており、今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じつつ、男女共同参画講演会との同日開催や、幅広い年齢層が見込まれるイベントを実施し、参加団体数の維持・増加に努めるとともに、区民に参加団体の活動及び男女平等・男女共同参画について、引き続き周知を図っていく。

## 事務事業評価表

事務事業名	各種講座（人権・男女平等）					担当部	総務部		関係課	—
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成元年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(3)
事務事業目的	<p>人権や男女平等についての理解が深まり、一人一人が人権を尊重するとともに、男女共同参画の視点に基づいて自分らしく生きる能力や地域社会に貢献する能力を高める。</p>									
実施内容	<p><b>【概要】</b>                  様々な人権課題について正しい知識を啓発するための講座・講演会を実施する。</p> <p><b>【活動内容】</b>                  ①男女平等の意識を醸成するための講座・講演                  家庭・地域・職場など日々の暮らしの中にある性差別への気づきを促すとともに、男女の能力開発・向上を図るための学習機会を提供する。                  ②人権問題についての講座・講演会                  区民の日常生活に横たわる各種人権課題についての認識を深めるとともに、互いの基本的な人権を尊重する意識を醸成する機会を提供する。                  広報かつしか、講座開催周知用チラシ、区ホームページ、ポスター（区内掲示板・施設に掲出）、FMかつしか等により参加者を募集する。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	満足度	受講者アンケート	%	目標	90	90	95
				実績	90	95	93
活動	参加者数	—	人	目標	1,300	1,300	1,300
				実績	1,002	1,011	646
活動	講演会・講座数	—	回	目標	20	20	20
				実績	20	20	18
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	633	781	467
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	9,298	9,669	8,587	
支出	直接事業費 (b)	1,676	1,886	1,894	
	職員人件費 (c)	4,400	4,345	2,765	
		業務量 (人)	0.55	0.55	0.35
	間接費 (d)	3,855	4,219	4,395	
	調整額 (e)	523	550	315	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	523	550	315	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	10,454	11,000	9,369	

単位当たりコスト (円)	H29	H30	R1
単位の定義	延べ参加者数 (各種講座) (人)		
実績数値 (g)	1,002	1,011	646
単位あたり区単コスト (a/g)	9,279	9,564	13,292
単位あたりコスト (f/g)	10,433	10,880	14,503

実施状況に対する評価	<p>この事業は、様々な人権課題に関する普及啓発活動を通して、人権問題や男女平等についての理解を深めることを目的としている。このため、できる限り多くの区民に参加していただけるよう、より新しいテーマの設定と講師の選定を行うことで、集客の期待できる講座を企画してきた。参加者数はほぼ横ばいであったものの、参加者の満足度は実績として9割前後であり、内容については評価されている。</p> <p>令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、男女共同参画講演会等を中止したことから、参加者数が例年に比べ減少している。</p>
今後の方向性【継続】	<p>誰もが幸せに暮らせるよう、お互いを思いやり、生活習慣・文化・価値観などの多様性や人権を尊重する社会の実現に向けた機会づくりとして、より多くの区民が参加する魅力ある講座を企画していく。</p> <p>今後とも多くの方が参加できるような開催日時やテーマの検討を行うとともに、来年度の東京オリンピック・パラリンピック開催にあわせ、性の多様性などの人権課題を関連付けた講座を企画するなど、日頃、人権について興味や関心のない区民に対して働きかけを行っていく。</p>

### 事務事業評価表

事務事業名	相談事業（女性の自立支援等）					担当部	総務部	関係課	—	
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成元年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(2)
事務事業目的	女性（一部男性を含む）が抱えるさまざまな悩みや問題の解決・軽減を図るためカウンセラーや弁護士などの専門家による相談を行う。 また、同和問題に関する悩みや問題の解決・軽減を図るため相談を行う。									
実施内容	<p><b>【概要】</b>                  男女平等社会を実現するための男女平等推進センター相談事業と同和問題に関する悩みや問題の解決・軽減を図るための同和相談事業の実施</p> <p><b>【活動内容】</b></p> <p>①悩みごと相談                  月・火・木・金曜日 午前10時～午後5時                  水曜日 午後1時～8時（5時以降は電話相談のみ・男性も可）                  女性問題全般の相談、カウンセリング業者に委託、要予約                  一人当たり1時間（相談時間50分）</p> <p>②法律相談                  火曜日 午後1時30分～4時30分 要予約、弁護士が対応                  一人当たり45分（相談時間40分）</p> <p>③同和相談 通年</p> <p>④一時保育                  悩みごと相談、法律相談中の一時保育（要予約）</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
活動	相談件数	各種相談の利用件数	件	目標	1,440	1,426	1,409
				実績	1,321	1,293	1,262
活動	悩みごと相談利用件数	利用件数	件	目標	878	878	878
				実績	804	809	764
活動	法律相談利用件数	利用件数	件	目標	122	122	122
				実績	151	144	135
活動	同和相談利用件数	利用件数	件	目標	440	426	409
				実績	366	340	363
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	9,867	10,038	9,966	
支出	直接事業費 (b)	9,067	9,248	9,176	
	職員人件費 (c)	800	790	790	
		業務量 (人)	0.10	0.10	0.10
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	95	100	90	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	95	100	90	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	9,962	10,138	10,056	

単位当たりコスト (円)	H29	H30	R1
単位の定義	各種相談利用件数 (件)		
実績数値 (g)	1,321	1,293	1,262
単位あたり区単コスト (a/g)	7,469	7,763	7,897
単位あたりコスト (f/g)	7,541	7,841	7,968

実施状況に対する評価	区ホームページや毎月1回広報かつしかに掲載しているほか、悩みごと相談や法律相談については、女性に対する暴力相談とともに区発行のリーフレットに相談窓口を掲載するなど広く周知し、相談中の保育も行っている。毎年、一定数の相談者がいることから、引き続き、相談者に寄り添い、支援を行っていく。
今後の方向性【継続】	毎年、一定数の相談件数があり、区民ニーズは高いものと考えられる。また、令和2年10月からは性自認・性的指向について、誰にも相談できない等の悩みを抱える本人や家族等のための相談事業を開始する予定である。区民からの相談に対して、適切に支援していけるよう、引き続き取り組んでいく。

### 事務事業評価表

事務事業名	男女平等推進センター等維持管理					担当部	総務部			関係課	—
						担当課	人権推進課				
開始年度	平成元年度					個別計画	—				
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	2(4)	等
事務事業目的	男女平等社会の推進に関する学習の機会及び交流と活動の場を区民に提供するため、施設を安全・快適に、かつ不便なく利用できるよう維持管理する。										
実施内容	<p><b>【概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のそれぞれの目的に添って活動する団体及び個人に対し、活動と交流の場を提供する。</li> <li>・施設利用者が安全・快適に不便なく使用できるよう施設管理を行う。</li> </ul> <p><b>【活動内容】</b></p> <p>[開館時間] 月～土曜日・・・午前9時～午後9時30分 日曜・祝日・・・午前9時～午後5時30分</p> <p>[休館日] 年末年始・全館メンテナンス日</p> <p>[貸室] 多目的ホール 302.2㎡ 208人 視聴覚室 123.8㎡ 54人 学習室 69.5㎡ 30人 調理実習室 60.2㎡ 30人 洋室A 102.9㎡ 54人 洋室B 49.1㎡ 24人 洋室C 49.1㎡ 24人 洋室D 95.0㎡ 50人 和室 24畳 30人</p> <p>[その他] 1階ラウンジ、2階ラウンジ、3階EVホール、3階ワーク室 貸室ではないが、机と椅子を設置し、無料かつ空きがあれば利用できる場所を提供している。特に3階ワーク室は、打ち合わせスペースとして定着し、登録団体に活用されている。</p> <p><b>【改善実績】</b></p> <p>平成30年11月から平成31年2月にかけて外壁その他工事を実施。</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	貸室の稼働率	利用件数／利用可能件数 ×100	%	目標	50	50	50
				実績	43	42	44
活動	利用件数	—	件	目標	4,500	5,000	5,000
				実績	5,079	4,930	5,157
活動	利用者数	—	人	目標	75,000	90,000	90,000
				実績	91,686	89,774	88,097
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	70,528	77,842	63,442	
支出	直接事業費 (b)	66,128	73,497	59,097	
	職員人件費 (c)	4,400	4,345	4,345	
		業務量（人）	0.55	0.55	0.55
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	27,038	27,065	27,010	
	減価償却費	24,827	24,827	24,827	
	金利	1,688	1,688	1,688	
	退職給与引当	523	550	495	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	97,566	104,907	90,452	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	管理対象面積（㎡）		
実績数値 (g)	4,554	4,554	4,554
単位あたり区単コスト (a/g)	15,487	17,093	13,931
単位あたりコスト (f/g)	21,424	23,036	19,862

実施状況に対する評価	<p>平成28年10月1日から、時間区分の見直しにより「午後」を「午後(1)」及び「午後(2)」に分割したことから、必要な時間だけ使用できるようになった。そのため、従前の「午後」の利用については、2件の利用で集計している。</p> <p>29年度に学び交流館が工事のため利用できない期間、男女平等推進センターを利用したことから、30年度は利用件数が減少した。また、29年度に会議室（洋室D）で雨漏りが多く発生し、使用できないこともあったが、30年度に外壁等の改修工事を行ったため、令和元年度は年間を通じ貸し出しをすることができるようになり、利用件数は増加した。</p>
今後の方向性【継続】	<p>男女平等推進センター自体の認知度を上げ、先行予約が可能な従来の目的内の団体利用を妨げない範囲で、目的外利用の周知を行い、稼働率を上げていきたい。</p> <p>また、常に安定した貸出ができるよう葛飾区公共施設等経営基本方針に従い、効果的・効率的な活用を図るための維持管理を行っていく。</p>

### 事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			収入	H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1		
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
男女平等推進センター図書 資料室運営				総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	蔵書数	冊	13,243	13,244	13,271
				人権推進課				一般財源	2,931	3,156	3,261					
一般	2	1	10	1(5)		支出	事業費	636	645	645	図書貸出数	冊	7,259	6,626	6,482	
<b>【概要】</b> 女性問題及び男女平等に関する図書、雑誌、資料等の収集、整理、貸出し <b>【活動内容】</b> ・区立図書館とのオンラインにより、相互貸借を行う。 [場所] ウィメンズパル2階 [登録要件] 学生証・運転免許証・健康保険証など住所が確認できるものを持参し、利用カードを作成する。 [開室時間] 月～金曜日 午前9時～午後5時 [休室日] 土・日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間 [主な蔵書の分類] 図書館の書籍分類に準じて整理。家庭、男女同権、妊娠、出産、育児、白書、統計。							人件費	0	0	0						
												トータルコスト (a)		2,931	3,156	3,261
業務量(人)	0.00	0.00	0.00													
						単位当たり コスト(円) (a/b)		221	238	246						
							間接費	2,295	2,511	2,616						
							調整額	0	0	0						



### 事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			収入	H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1		
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
人権・男女平等啓発情報発信事業				総務部		—	収入	特定財源	243	243	247	全戸配布啓発紙	部	239,500	243,950	248,000
				人権推進課				一般財源	3,253	3,314	3,672					
一般	2	1	10	1(4)		支出	事業費	3,004	3,061	3,419	男女の共同参画が進んでいると思う区民の割合	%	36.8	40.4	41.5	
【概要】 区民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、区民や関係機関の認識と理解を深めることを目的とした人権啓発紙や事業所向け啓発誌等を発行する。 【活動内容】 ①人権（男女平等・同和・その他）啓発紙「こんにちは人権」年1回（11月）全戸配布 248,000部 ②男女共同参画スケジュールノート 年1回発行 1,500部 男女平等推進センター窓口で配布 パルフェスタでは中止のため未配布							人件費	400	395	395						
						トータルコスト (a)		3,544	3,607	3,964	日常生活の中で差別があると感じていない区民の割合	%	64.6	64.7	68.8	
							単位当たり コスト(円) (a/b)		15	15						16

### 事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課												
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）							H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
事業内容																
男女平等推進審議会等運営				総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	男女平等推進審議会の開催回数	回	2	1	3
				人権推進課				一般財源	2,414	2,187	2,450					
一般	2	1	10	1(9)		「男女平等推進審議会」は「男女平等推進計画」の策定及び推進を審議し、「男女平等苦情調整委員会」は「男女平等社会の推進を阻害する事項」に関し、区民の方から申立てのあった苦情を適正に処理するため、「葛飾区男女平等推進条例」に基づき設置されている。	支出	事業費	414	212	475	男女平等苦情調整委員会開催回数	回	1	0	0
							人件費	2,000	1,975	1,975						
							業務量(人)	0.25	0.25	0.25						
							間接費	0	0	0						
							調整額	238	250	225						
							トータルコスト(a)	2,652	2,437	2,675						
							単位当たりコスト(円)(a/b)	1,325,750	2,437,000	891,667						

### 事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
事業内容													
部落解放同盟東京都連合会 葛飾支部助成 一般 2 1 1	総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	助成件数	件	1	1	1
	人権推進課				一般財源	1,032	1,022	1,022					
9(3)				支出	事業費	232	232	232	—	—	—	—	—
葛飾区補助金等交付規則の定め及び補助金等審議会答申に従い、団体からの助成金交付申請書の内容審査、交付通知を行った上で、補助金を交付する。事業完了後、団体からの事業報告について、助成目的・内容に沿って適正に執行されたものであるかを審査し、助成額を確定して、団体に通知する。					人件費	800	790	790					
①行動費助成 人権・同和問題に関する大会・集会への参加費、交通費等				トータルコスト (a)	業務量(人)	0.10	0.10	0.10	—	—	—	—	—
②啓発費助成 人権・同和問題に関する図書・雑誌購入、学習・研修会等					間接費	0	0	0					
③通信費助成 資料郵送にかかる郵便料金等				単位当たり コスト(円) (a/b)	調整額	95	100	90	—	—	—	—	—
					1,127	1,122	1,112						
				1,127,000	1,122,000	1,112,000							

### 事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
事業内容													
女性相談	福祉部 東生活課		西生活課	収入	特定財源	1,330	49	49	相談延べ件数	件	725	905	1,034
—	—	—	—	一般財源	14,670	11,801	11,801						
<b>【活動内容】</b> 問題や悩みを抱える女性からの相談を、面接又は電話により受付ける。相談に対し、適切な助言・情報提供を行い、各種援助が的確に実施されるよう、関係機関との連絡・調整役を担う。 <b>【相談体制】</b> 西・東生活課に婦人相談員を配置し、相談を受けている。				事業費	0	0	0						
				支出	人件費	16,000	11,850	11,850					
					業務量(人)	2.00	1.50	1.50					
				トータルコスト (a)	間接費	0	0	0					
					調整額	1,900	1,500	1,350					
				緊急一時保護利用件数	件	52	58	75					
				単位当たり コスト(円) (a/b)	24,690	14,751	12,766						

施策 番号	1602	成果指標					
		指標名	単位	区分	H29	H30	R1
施策 名	世界平和を願い、核兵器廃絶を望むようにします	非核平和に関心のある区民の割合	%	目標	75.0	75.0	75.0
				実績	75.7	76.0	72.1
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

	事務事業	担当課	区分	頁
	葛飾原爆被爆者の会助成	総務課	○	1064
	非核平和都市宣言関連事業	総務課	○	1065

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。  
 ※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。  
 ※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

### 事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
				担当課			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
葛飾原爆被爆者の会助成				総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	訪問や電話による相談活動件数	件	131	136	111
				総務課				一般財源	980	1,026	916					
一般	2	1	1	9(1)		支出	事業費	900	947	837	自主事業（パネル展等）の実施日数	日	5	5	5	
							人件費	80	79	79						
葛飾原爆被爆者の会の非核平和関連事業に対し、1/2を限度額として、予算の定める範囲（1,200,000円）で交付。（慶弔費、分担金を除く）							業務量(人)	0.01	0.01	0.01						
							間接費	0	0	0						
							調整額	10	10	9						
						トータルコスト(a)	990	1,036	925							
						単位当たりコスト(円) (a/b)	7,553	7,618	8,333							

### 事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
非核平和都市宣言関連事業				総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	アンケート回収数(被爆体験講話会・原爆資料展)	枚	734	300	331
				総務課				一般財源	4,040	5,060	3,944					
一般	2	1	1	1(3)			事業費	840	1,900	784						
唯一の被爆国の自治体として、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を求めていくことを宣言した「葛飾区非核平和都市宣言」に則り、各種非核平和事業を行う。 ①非核平和祈念のつどいをテクノプラザかつしかにて開催(例年8月1日)。議員や連合町会長を招待する他、会場付近の保育園や高齢者クラブにも協力を仰いでいる。平成17年度から、区内小中学校に千羽鶴の作製を依頼、本つどいで献架等に活用する。 ②原爆写真ポスター展(7月中旬～8月中旬) ③折鶴コーナー設置(7月中旬) ④広島及び長崎平和祈念式典等への職員派遣							支出	人件費	3,200	3,160	3,160					
							業務量(人)	0.40	0.40	0.40						
							間接費	0	0	0						
							調整額	380	400	360						
							トータルコスト(a)	4,420	5,460	4,304						
							単位当たりコスト(円)(a/b)	6,022	18,200	13,003						

施策番号	1603	成果指標					
		指標名	単位	区分	H29	H30	R1
施策名	すべての人にとって使いやすいデザインやしくみが随所に取り入れられるようにします	ユニバーサルデザインが普及していると思う区民の割合	%	目標	21.0	23.0	15.6
				実績	13.0	15.3	18.0
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	公共サイン再構築事業	政策企画課	◎	1067
	計画	歩道勾配改善事業	道路補修課	◎	1069
	計画	バリアフリー事業	調整課	○	1071
		バリアフリー法審査認定事務	建築課	○	1072
		民間建築物バリアフリー化整備費助成	福祉管理課	○	1073

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。



## 事務事業評価表

事務事業名	公共サイン再構築事業						担当部	政策経営部	関係課	—	
							担当課	政策企画課			
開始年度	平成27年度						個別計画	葛飾区公共サインガイドライン、 葛飾区公共サイン整備計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	7	説明等	1(2)	
事務事業目的	<p>既存サインの諸課題に対応し、公共サインに求められる新たな役割や機能に応えた、利用者にとって使いやすい公共サインを整備していくため、再構築を図る。</p>										
実施内容	<p>各種調査の実施による現状分析から課題等を整理し、利用者にとって必要な情報や機能等を備えた持続可能な公共サインとして再構築を行う。 平成27年度では、公共サイン整備計画の策定、堀切菖蒲園駅南側）モデル整備を実施し、その内容を庁内検討会及び同幹事会にて検討・確認した。 平成28年度以降は、整備計画に基づき、エリアごとに整備を行った。</p> <p>〈整備実績〉 平成28年度 青戸、亀有エリア 平成29年度 お花茶屋、四つ木、奥戸エリア 平成30年度 堀切（堀切菖蒲園駅北側）、高砂・柴又、水元エリア 令和元年度 立石、金町、新小岩エリア その他（堀切菖蒲園駅南側）</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	公共サインの整備率	(整備済みエリア数/整備予定エリア数【計12エリア】) × 100	%	目標	50	75	100
				実績	50	75	100
活動	公共サイン再構築地区数	—	地区	目標	3	3	3
				実績	3	3	3
活動	会議開催回数	公共サイン再構築推進委員会、幹事会	回	目標	—	—	—
				実績	2	2	2
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	2,016	0
		都道府県支出金	0	37,613	29,165
		その他	18,016	30,210	12,384
	一般財源 (a)	64,141	67,297	64,581	
支出	直接事業費 (b)	78,957	134,371	104,708	
	職員人件費 (c)	3,200	2,765	1,422	
		業務量（人）	0.40	0.35	0.18
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	380	350	162	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	380	350	162	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	82,537	137,486	106,292	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	公共サイン再構築地区数（地区）		
実績数値 (g)	3	3	3
単位あたり区単コスト (a/g)	21,380,333	22,432,333	21,527,000
単位あたりコスト (f/g)	27,512,333	45,828,667	35,430,667

実施状況に対する評価	<p>平成27年度のモデル整備以降、公共サイン整備計画に沿って計画どおり整備を進めている。整備後には検証を行っており、平成29年度は遠方からの視認性を向上させるため、誘導サインの部材の色彩を変更する等、適宜改善を図っている。</p> <p>令和元年度は新規に立石・金町・新小岩地区において、平成29年度の検証の結果を踏まえた整備を行っており、また、平成27年度にモデル整備した堀切地区においてはサイン施設の追加等の再整備を行った。なお、新規整備した箇所においてはバス事業者と協働を図りながら整備を行った。</p> <p>整備後には再検証を行い、問題点や改善点があれば、適宜反映させるなど、利用者にとって使いやすい公共サインの整備を進めている。</p>
今後の方向性【改善】	<p>今後も、利用者にとってより使いやすい公共サインとするために、既存サインの更新や事業者が管理する施設や設備等への利用を検討していく。また、英語や中国語、韓国語だけでなく、より多くの言語に対応するための検討も進めていく。</p>

### 事務事業評価表

事務事業名	歩道勾配改善事業					担当部	都市整備部	関係課	—	
						担当課	道路補修課			
開始年度	平成12年度					個別計画	—			
根拠法令	道路法、東京都福祉のまちづくり条例、 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）									
予算説明書	会計	一般	款	7	項	3	目	3	説明等	3(2)
事務事業目的	高齢者や障害者、車いす利用者等、誰もが快適に移動できる道路環境を整備する。									
実施内容	<p>区内約20kmの道路に設定された特定経路(※)について、歩道の段差や勾配等を改善することにより、高齢者や障害者等の誰もが安全で快適に通行できる道路環境整備を行う。 既設マウントアップ型歩道をセミフラット型歩道に改修することにより、歩道の勾配を縦断方向で1%、縦断方向で5%以下とし、歩道の平坦性の向上を図る。</p> <p>※特定経路とは、駅と周辺の主要施設とを結ぶ経路のうち、特に重点的にバリアフリー化を図るべき経路。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H29	H30	R1
成果	歩道勾配の改善率	累計整備延長／計画延長	%	目標	75	76	77
				実績	75	76	77
活動	歩道勾配改善工事整備延長	—	m	目標	800	200	200
				実績	870	150	210
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H29	H30	R1	
収入	特定財源	国庫支出金	11,000	6,500	1,700
		都道府県支出金	16,071	0	0
		その他	0	21,000	35,000
	一般財源 (a)	211,564	26,570	43,160	
支出	直接事業費 (b)	228,235	50,120	76,700	
	職員人件費 (c)	10,400	3,950	3,160	
					業務量 (人)
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	1,235	500	360	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	1,235	500	360	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	239,870	54,570	80,220	

単位当たりコスト（円）	H29	H30	R1
単位の定義	整備延長（m）		
実績数値 (g)	870	150	210
単位あたり区単コスト (a/g)	243,177	177,133	205,524
単位あたりコスト (f/g)	275,713	363,800	382,000

実施状況に対する評価	<p>現在（令和元年度末）、計画延長約20.5kmのうち、15.8kmが完了しており、進捗率は約77%となっている。</p> <p>昨今の施工時における交通確保（歩行者、車両等を含む）や近隣の生活環境により、工事の施工規模が縮小傾向にある。</p>
今後の方向性【継続】	<p>高齢化が進む中、高齢者や障害者、車いす利用者等、誰もが快適に移動できる道路環境を整備は必要であると考えており、引き続き、事業を着実に進めていきたい。</p> <p>近年、安全で快適な自転車空間の確保が求められており、自転車の走行環境に配慮した整備（スリット側溝等）も進めている。</p>

### 事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
事業内容													
バリアフリー事業	都市整備部	福祉管理課、新小岩街づくり担当課		収入	特定財源	9,913	55,000	3,500	バリアフリー達成地区 （累計53箇所）	箇所	43	43	43
	調整課			一般財源	12,627	56,580	5,080						
一般	4	1	1	1 (2)									
葛飾区バリアフリー基本構想（平成23年3月策定）の重点整備地区に指定した新小岩駅圏において、区民や公共交通事業者、国や都などと一体となり、駅や道路、公共施設、商店街を含めたバリアフリー化を進める。				支出	事業費	20,940	110,000	7,000	<新小岩駅圏> 南北自由通路等整備	—	工事	工事	工事
また、従来から取り組んでいる重点整備地区（金町駅圏及び京成立石駅圏）についても、引き続きバリアフリー化を進める。					人件費	1,600	1,580	1,580					
※鉄道駅エレベーター、ホーム柵、内方線付き点状ブロックの整備費助成事業以外の事業費については、「新小岩駅周辺開発整備事業」で計上している。					業務量(人)	0.20	0.20	0.20					
					間接費	0	0	0					
					調整額	190	200	180					
				トータルコスト (a)	22,730	111,780	8,760	<新小岩駅圏> 北口駅前広場整備	—	設計	設計	工事	
				単位当たり コスト(円) (a/b)	528,605	2,599,535	203,721						

### 事務事業一覧表

事務事業名	担当部	関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	担当課			H29	H30	R1		単位	H29	H30	R1	
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）												
事業内容												
バリアフリー法審査認定事務	都市整備部	—	収入	特定財源	0	0	0	申請件数	件	4	3	2
	建築課			一般財源	1,600	1,580	1,975					
—	—	—		事業費	0	0	0					
特定建築物（老人ホームや病院、劇場等多数の人が利用する建築物）における特定施設（入口、廊下、階段、昇降機、便所等の施設）が、バリアフリー対応基準に適合しているかを審査し、認定する。			支出	人件費	1,600	1,580	1,975	—	—	—	—	—
				業務量(人)	0.20	0.20	0.25					
				間接費	0	0	0					
				調整額	190	200	225					
				トータルコスト(a)	1,790	1,780	2,200					
				単位当たりコスト(円) (a/b)	447,500	593,333	1,100,000					

### 事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H29	H30	R1	単位	H29	H30	R1			
事業内容													
民間建築物バリアフリー化 整備費助成	福祉部		—	収入	特定財源	750	1,500	0	実績件数	件	1	1	0
	福祉管理課				一般財源	3,450	2,290	790					
一般	4	1	1		事業費	3,000	3,000	0					
1(3)				支出	人件費	1,200	790	790	相談件数	件	7	4	4
施設のバリアフリー整備について、整備改善に要する費用の1/2（限度額300万円）を助成する。 ＜助成対象範囲＞ 「東京都福祉のまちづくり条例施行規則」に規定する一般都市施設 ＜対象経費＞ 東京都福祉のまちづくり条例施行規則の規定に適合する整備に要する経費。（例）敷地内通路の段差解消、出入口・廊下などのスロープや手すりの設置、障害者対応型トイレの設置など					業務量(人)	0.15	0.10	0.10					
								間接費	0	0	0		
				調整額	90	100	90						
				トータルコスト (a)	4,290	3,890	880						
				単位当たり コスト(円) (a/b)	4,290,000	3,890,000	—						